



日耳鼻医会

FAXニュース

平成25年6月7日発行 第202号

平成25年度定時代議員会・総会案内

下記の通り定時代議員会ならびに総会を開催致します。

日時:平成25年6月30日(日)午後1時~5時

会場:八重洲富士屋ホテル (3階赤松の間&けやきの間)

会次第

第1部 代議員会・総会(午後1時~2時半)

報告 平成24年度庶務報告及び事業報告

議案

第1号議案 平成24年度収入・支出決算について

第2号議案 平成25年度事業計画(案)について

第3号議案 平成25年度収入・支出予算(案)について

第4号議案 定款変更について

第2部 特別講演(午後2時半~3時半)

「医療と消費税-消費税は誰が負担すべきか」

税理士 船本智睦先生(京都紫明税理士法人)

第3部 懇親会(午後4時~) (議案書は6月中旬発送予定)

「第38回臨床家フォーラム」ご案内

期日:9月15日(日)・16日(月・祝)

会場:コクヨホール(品川駅近く)

分科会:9月15日(日)午後

小児の睡眠時呼吸障害 .. 山梨大小児科 杉山剛先生

外来・在宅における嚥下障害診察 .. 部坂・西山先生

耳鼻咽喉科領域の daVinci ロボット支援手術

.. 東京医科大耳鼻科 伊藤博之先生

繰り返すめまい発作にどう対応するのか?

具体的に考えます .. 厚生年金病院 石井正則先生

実習 聴力検査 .. 嚥下内視鏡検査(部坂・西山先生)

全体集会:9月16日(月・祝)午前中

講演

日本医師会の東日本大震災対応 - 福島原発事故下で

のJMAT活動 .. 日医常任理事 石井正三先生

アレルギー疾患関係 .. 東京女子医科大 玉置淳先生

アスクレピオスの心を書いて .. 作家 林 真理子 様

エクスカーショ ン スカイツリー見学 (9月15日午前中)
予めエクスカーショ ンの参加を募ります。6月中旬に申し込み用紙をFAXで送信させていただきます。

■免疫療法適応拡大にらみ、 安易な施行を戒める

日本アレルギー学会のアレルゲンと免疫療法専門部会
は5月16日、「アレルゲン免疫療法の基本的考え方」と題した
声明をホームページに公開した。「アレルゲン免疫療法を
行う場合は、アレルギー診療に精通した医師がアレルゲン
を正確に同定し、患者に回避指導を行った上で、長期治療
の必要性を説明し、同意を得た上で行うべき」と、学会は安
易な施行に釘を刺している。

アレルゲン免疫療法は、皮下もしくは舌下にアレルゲン
を投与することで、従来の薬剤による対症療法とは異なり、
疾患の自然経過そのものを改善するため、期待が集まって
いる。現在は、花粉症、アレルギー性鼻炎、気管支喘息、
ハチ毒アレルギーでの施行が一般的。学会は、今後の動き
として「食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、薬剤
アレルギーなどにも適応が拡大していく可能性がある」と説
明している。(m3.com 臨床ニュース 5月22日)

■聴覚を簡単チェック 携帯機器開発...

福祉や介護に取り組む埼玉ライフシステム(埼玉県上里
町)が、「携帯式簡易聴覚チェッカー」を開発した。

難聴や認知症の早期発見を目指した「介護予防」の取
組みを支援するための機器で、言葉を発声する携帯式の
聴覚チェッカーは非常に珍しいという。

聴覚チェッカーの名称は、「ペンギンズボイス ペギー
ちゃん」。145グラムと軽く、手のひらに乗ってしまうサイズ。

聴覚チェックは、二つのボタンを操作して、あらかじめ
収録された単語と質問を耳元で鳴らすだけ。単語は「ペン
ギン」「海岸」「7時」など10種類、質問は「今日は、何曜日
ですか」など記憶の質問が6種類ある。本当に聞こえている
か、どのくらい聞こえているか、どう聞こえているかが簡単
に分かるという。

きっかけは3年前、鶴ヶ島市の耳鼻科専門医小川郁男
医師が、同社が以前に開発した「たすけてー!」と叫ぶ防
犯ブザーを知り、聴覚チェッカーの開発を提案。それから約
2年を経てチェッカーが完成した。

小川医師は、「難聴と認知症には大きな関わりがある」と
いう。難聴に気づかずにいることで認知症になる確率が高
まることを以前から調査してきた。国が実施する高齢者の
基本健康診断には聴覚検査がないことを危惧し、検査機会

の必要性を感じていた。早めに難聴を認識し、必要があれば
専門医や病院で診察してもらい、さらに専門的な認知症
の検査にもつなげるのが「介護予防」の取り組みといえる。
小川医師は、聴覚チェッカーの導入によってその機会が増
えることを期待している。(読売新聞 5月28日)

■患者死亡 届け出義務化 厚労省 全医療施設対象

厚労省は医療事故の実態把握のため、国内全ての病院
・診療所計17万施設を対象に、診療行為に絡んで起きた予
期せぬ患者死亡事例の第三者機関への届け出と、院内調
査を義務づける方針を決めた。関係社が5月12日、明らか
にした。

現在、届け出義務があるのは高度医療を提供する大学
病院など約270施設だけ。新制度では中小病院や診療所も
含め、死亡事例を網羅的に収集できるようになる。厚労省
の「医療の質の向上に資する無過失補償制度等のあり方
に関する検討会」の議論が纏まり次第、医療法改正に向け
た作業を進め秋の臨時国会への改正案提出を目指す。

第三者機関は行政から独立した民間組織と位置づけ、
現行の「日本医療機能評価機構」や「日本医療安全調査機
構」の機能を統合・一元化する案が浮上。新制度は医療事
故の原因究明と再発防止を主眼とするため、第三者機関
から警察への通報はしない。(南日本新聞5月13日)



GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer

定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

アラミスト®点鼻液27.5µg 56噴霧用

Allermist® 27.5µg 56metered フルチカゾンフランカルボン酸
Nasal Spray エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、
「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入)

グラクソ・スミスクライン株式会社 グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先
TEL: 0120-561-007(9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
〒1151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル FAX: 0120-561-047(24時間受付)

2010.5

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228
HP: http://www.jenti.or.jp E-mail jimuj@jenti.or.jp